

月刊天文ガイド 2022.3月号 2月4日発売

定価:1,100円(税込)

今月の特集

2021 南極皆既日食 12/4 レポート

国立天文台野辺山と日本の電波天文学

TOPICS & 連載

☆好評連載 星空撮影QUICKガイド

☆巻頭グラビア「月のある絶景」

- ◆今月の星空 / 今月の天体観測 ◆アストロニュース
- ◆月のある絶景 ◆天文学コンサイス ◆読者の天体写真
- ◆観測ガイド 他

天文ガイドホームページ

<https://www.seibundo-shinkosha.net/tenmon/>

書籍のご案内

星空ガイド 2022



2022年の天文現象を月ごとにまとめたビジュアルな星空ガイドブック。毎月の天文現象をやさしく解説、観察時刻、観察方法を紹介します。

藤井 旭[企画・構成]
定価:1,100円(税込)

A4変判・56頁 ISBN:978-4-416-62148-6

藤井 旭の天文年鑑 2022年版



2022年に起こる天文現象をやさしく解説。毎月の星空ガイドや流星群の見どころ、11月8日に起こる皆既月食についても解説。

藤井 旭[著]
定価:990円(税込)

B6判・120頁 ISBN:978-4-416-62136-3

天文年鑑 2022年版



2022年に起こる天文現象の予報と解説、2020年夏～2021年夏に起きた現象の観測結果をまとめた、天文ファン必携のデータ集。

天文年鑑 編集委員会 [編]
定価:1,320円(税込)

B6判・384頁 ISBN:978-4-416-62140-0

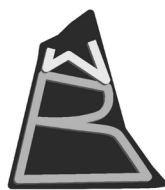


誠文堂新光社

<https://www.seibundo-shinkosha.net/>

〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-11 TEL.03-5800-5780

●お求めはお近くの書店、ネット書店、または……
<ブックサービス> 0120-29-9625



違い

～言葉の垣根をこえるお手伝い～

英文校正・翻訳サービス ワイズバベル

1. 天体物理学の元一線の研究者(在英)が校正
2. 日本人天文学研究者の癖に精通
3. 日本語でのやり取り、確認、校費/科研費対応
4. LaTeX, Word, HTML 形式他へ完全対応

URI: <http://WiseBabel.com/> Twitter/FB: @WiseBabel

email: info@WiseBabel.com 代表: Masa Sakano, PhD

Wise Babel Ltd, 15-17 High St, Kingussie, Inverness-shire, UK

■星座早見盤付天文ポケット年鑑■

天文手帳2022

浅田英夫・石田智編著/A6変型判/256頁/定価1144円(税込)



天文ファンのスケジュール管理に直し、45年にわたりご愛用いただいている手帳の2022年版。月齢早見、簡易星図、主な星雲星団一覧など、小さな1冊に天体観望・観測情報、天文雑学・資料が満載。見返しの小型星座早見盤で当日の星空が一目でわかる。見て、読んで、書き込んで、楽しく便利にご活用いただけます。

Near-Earth Objects:Finding Them Before They Find Us

地球接近天体

—いかに早く見つけ、いかに衝突を回避するか—

D.ヨーマンズ著/山田陽志郎訳/A5判/184頁/定価2860円(税込)



巨大彗星や小惑星の落下は、一撃で人類の文明も滅ぼしてしまふ。一方、このような地球接近天体は、太陽系の起源を解く糸口を与え、将来の宇宙探査の足がかりを提供する。地球接近天体の科学、歴史、応用など、また衝突回避のためにそれらを見つつけようと研究を進めている探査について紹介する。

日食計算の基礎

—一日食図はどのようにして描くか—

長沢工著/A5判/288頁/定価4180円(税込)



日食はいつ起こるのか、ある特定の日食はどこで見られるか、それは何時に始まり何時に終わるか、太陽はどのくらい欠けるのか。本書では、特に日食の見られる範囲を地図に示す「日食図」の描き方を重点に、日食に関する種々の計算法を解説した。日食計算は、天文計算の極致を体験するものだといってもよい。

軌道決定の原理

—彗星・小惑星の観測方向から距離を決めるには—

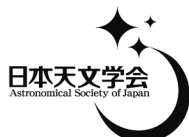
長沢工著/A5判/248頁/定価2750円(税込)



彗星や小惑星の軌道決定にはガウスの時代から様々な方法が考えられているが、そのアルゴリズムが複雑なため、入門者には理解しにくい。本書では、高性能になったパソコンの使用を前提に、多少計算量が増えても軌道決定までの道筋が明確な独自の方法を提案し、計算例を示して具体的に解説する。

地人書館

〒162-0835 東京都新宿区中町15番地 TEL.03(3235)4422 FAX.03(3235)8984
URL:<http://www.chijinshokan.co.jp> E-mail:chijinshokan@nifty.com



インターネット 天文学辞典

公益社団法人 日本天文学会

天文・宇宙に関する 3,000 以上の用語を専門の研究者がわかりやすく解説。登録不要・無料で、誰でも利用できる「進化する辞典」です。

MENU

- 学習レベルで探す
- 小学生
- 中学生
- 高校生
- 五十歳で探す
- カテゴリーで探す
- 画像を見る
- 動画を見る

天文学辞典 > 太陽系 > 惑星 > 火星

火星

学習レベル 高 中 低

よみ方 かきゅう

英語 fireball

説明

流星のなかでも極めて明るいもの。流星と火星の境界にはさまざまな定義が繰り返されてきたが、2017年に国際天文学連合のI委員会(流星、隕石、流星群リスト)が、関連分野の基本用語の定義や解説を採択し公表した。そこでは100 kmの距離での明るさがマイナス9等より明るくなったものを火星と呼ぶこととしている。火星では、通常の流星の消滅点である高度80 kmよりも低高度まで流星現象が継続することもある。火星は通常の流星よりも大きな流星(数cmから数10 cm程度)が気流に突入したときも観測されるもので、爆発的な現象が見られたり地上で音が聞こえたりすることがある。落下物量が隕石として探査されることもある。

国際天文学連合のI委員会による流星天文学の用語の定義と解説:
https://www.iau.org/static/science/scientific_bodies/commissions/I1/meteordefinitions_approv

隕石落下の可能性あり 2020年7月2日...

後で見る 共有

2020年7月2日に東京上空に墜れた大火球。その映像と軌道 (提供: KAGAYA)
https://youtu.be/Muk_xjDINcw

関連画像

国立天文台附属(1)体物観測所管内にて撮影された火星の落下映像(2019年5月27日23:30ごろ) (クレジット: NAOJ)
<http://www.oao.nao.ac.jp/2013/05/09/20>

ふたご座流星群に降った火星(流星群: 流星) (撮影所: 二次利用可) 観測地: 山形県鶴岡市 撮影日時: 2002年12月14日23時10分
<https://neo.jmp.nao.ac.jp/phenomena/2>

特長

- 急速な発展を続ける天文学分野の用語を随時更新し、最新の情報を掲載
- 豊富なカラー画像や動画を使用しわかりやすく解説
- 研究者向けの専門用語から小・中学生向けの基礎的な用語まで幅広く網羅
- 学習レベルやカテゴリー別に検索できるので教材作りにも役立つ

インターネット天文学辞典

<https://astro-dic.jp/>

